

弘前さくらまつり4駐車場

空き情報リアルタイムで

弘大 ネット発信実証実験



弘前さくらまつりに車で来る観光客の利便性向上を図ろうと、弘前大学理工学部電子情報工学科の丹波澄雄准教授と学生たちは28、30日、実証実験として弘前公園周辺の四つの駐車場の空き情報をリアルタイムで発信するサイト「弘前さくらまつり駐車場マップ」を公開する。スマートフォンなどから簡単にアクセスできる。駐車場を効率的に利用してもらうことで、観光活性化や弘前公園周辺の渋滞緩和につなげる狙い。

公開するのは市役所、市立観光館、弘前文化センター、津軽藩ねぶた村の駐車場データ。学生が午前9時から午後5時まで各駐車場での車の出入りを確認し、空き台数や入場を待つ車列の状況といった情報をその場で更新する。

インターネットで駐車場の空き情報を公開するシステムは昨年度、丹波研究室の3年生が参加した県主催の「オープンデータ利活用人財育成講座」で、蝦名祥さんと渡辺あさひさんのグ

スマートフォンで閲覧した「弘前さくらまつり駐車場マップ」のサンプルページ。地図上に現在地や4駐車場の状況が表示される

ループが作成した。毎年駐車場の混雑が気になっていたという蝦名さんは「遠くから桜を見に来る人たちのために混雑緩和が一つのサービスになればいい。どんな実験結果が出るのか楽しみ」と話していた。

今回はシステム開発の都合上、人海戦術で情報を集めるが、将来はライブカメラなどを使って空き情報を自動管理することを想定。公園周辺の私営駐車場の情報も網羅する方針だ。

「正しい情報をリアルタイムで発信すること」で観光客に時間を提供できる。5分、10分という時間をつくらせることが、おもてなしの切り口になる」と丹波准教授。「これから時間をかけ、地理に不案内な旅行者も使いやすいシステムに育てた

い」と語った。

弘前さくらまつり駐車場マップは弘前大学のホームページからアクセスできる。実験中に限ってスマートフォンやパソコンなどで閲覧できる。(太田佳希)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

東奥日報社に無断で転載することを禁止します。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp